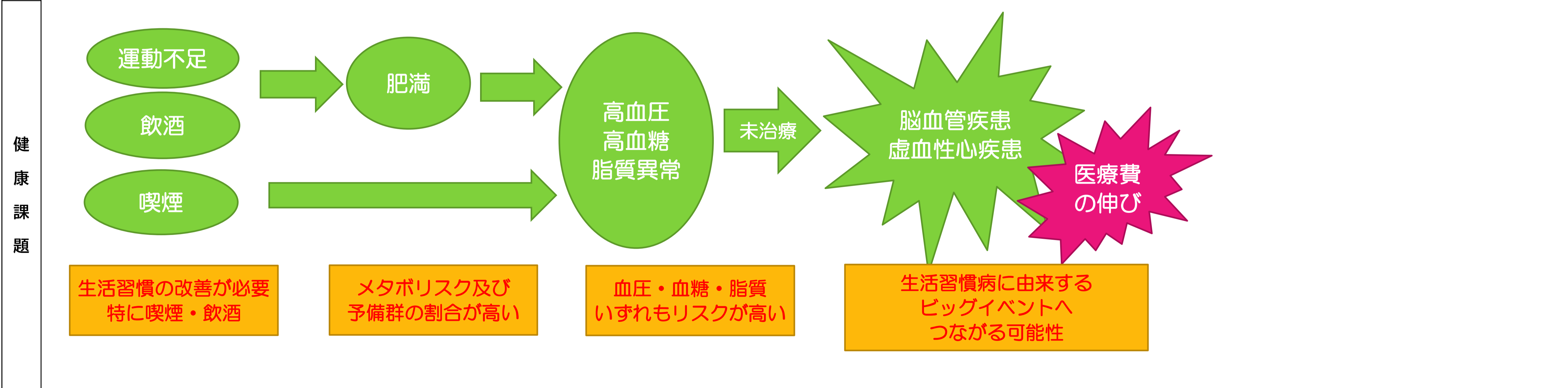


6年後に達成する目標
(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標) 健診受診者のメタボ該当者及び予備群の割合を令和4年度（男性45.9% 女性14.4%）よりも減少させる

健康課題の抽出

● 情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

	背景、不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化、要介護状態、死亡
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東北地方で寒冷地、積雪あり ■ 1日あたり塩分摂取量が全国平均に比べ多い 宮城 男性11.2g 女性9.7g(令和4年宮城県県民健康・栄養調査) 全国 男性10.9g 女性9.3g(令和元年国民健康・栄養調査) ■ 加入事業所数 43,251事業所 ■ 被保険者数 440,756人 ■ 被扶養者数 256,742人 ※令和4年度末数値 ＜生活習慣要改善者の割合＞※令和4年度スコアリングレポート ■ 喫煙習慣 男性45.3%(42位)・女性16.8%(39位) ■ 運動習慣 男性66.9%(24位)・女性73.6%(18位) ■ 食事習慣 男性53.6%(10位)・女性46.1%(12位) ■ 飲酒習慣 男性20.9%(42位)・女性5.7%(39位) ■ 睡眠習慣 男性35.7%(25位)・女性42.3%(32位) ■ 特定健康診査実施率(被保険者80.3%・被扶養者34.4%) ■ 健康宣言事業所数 2,356事業所 ※令和4年度末数値 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保健指導実施率(被保険者23.4%・被扶養者10.3%) ＜生活習慣病リスク保有率＞※令和4年度スコアリングレポート ■ メタボリックリスク 男性27.9%(45位)・女性7.5%(44位) ■ メタボリスク予備群 男性45.9%(44位)・女性14.4%(44位) ■ 腹囲リスク 男性53.0%(38位)・女性17.9%(40位) ■ 血圧リスク 男性61.9%(45位)・女性42.1%(44位) ■ 代謝リスク 男性26.1%(40位)・女性13.0%(38位) ■ 脂質リスク 男性40.0%(45位)・女性21.1%(42位) ＜業態別リスク保有率＞※令和4年度加入者医療費情報 上記全ての項目及び喫煙習慣のある者の割合で運輸業、道路貨物運送業、各種工事業のリスク保有率が高い傾向 ＜地域別リスク保有率＞※令和4年度加入者医療費情報 仙台市周辺に比べ、県北・県南地域のリスク保有率が高い 特に血圧・喫煙割合については特徴が大きく出ている 	<ul style="list-style-type: none"> ＜1人当たり医療費＞※令和4年度 加入者医療費情報 ■ 入院外1人当たり医療費 128,010円(全国平均125,555円) ■ 入院1人当たり医療費 54,005円(全国平均53,181円) ＜治療状況＞※「データからみたまやぎの健康 令和4年度版」 ■ 疾病分類別受療率 全国と比べて高い疾病(令和2年) 【入院】新生物(宮城116・全国100) 【外来】消化器系疾患(宮城1,120・全国1,007) ■ 人工透析に移行した患者数 宮城県全体633人(令和3年) ＜重症化予防事業の実施状況＞※令和4年度宮城支部実施状況 ■ 未治療者受診勧奨 文書発送10,849件、電話勧奨93件 ■ 糖尿病性腎症 文書発送394件、電話勧奨24件、指導3件 ■ コントロール不良者への文書発送3,268件 ＜業態別一人当たり医療費＞※令和4年度加入者医療費情報 ■ 入院 各種工事業、運輸業・道路貨物運送業が全国平均より高い ■ 入院外 各種工事業、運輸業、複合サービス業が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ※「データからみたまやぎの健康 令和4年度版」より ■ 平均寿命の推移 昭和50年/宮城男性71.5・全国男性71.1(23位) →令和2年/宮城男性81.7・全国男性81.5(18位) 昭和50年/宮城女性77.0・全国女性76.9(16位) →令和2年/宮城女性87.5・全国女性87.6(29位) ■ 死亡数 25,897人・死亡率 1141.3(人口10万人対)(令和3年) ■ 死亡原因(令和3年) 第1位 悪性新生物(26.9%) 第2位 心疾患(15.4%) 第3位 老衰(11.9%) ■ 年齢調整死亡率(令和3年) 男性471.7(37位)・女性242.9(41位) ■ 健康寿命(令和元年) 男性72.9(16位)・女性75.1(34位)



対策を進めるべき重大な疾患
(10年以上経過後に達するゴール)

脳血管疾患、心疾患等の循環器系疾患による1人当たり入院件数を令和4年度より減少させる